

わが国の原子力発電所の運転実績

Table with columns: 会社名, 発電所名, 炉型, 認可出力, 発電電力量, 設備利用率, 稼働時間, 稼働稼働率, 備考. Includes summary rows for total and previous year comparisons.

備考: \*1 一次冷却材中の放射能濃度上昇に伴う点検停止(11/5/7- <第18回定検中)>
\*2 原子炉冷却材再循環ポンプ軸封部取替に伴う停止(11/3/1- <第13回定検中)>
\*3 第24回定検中(10/12/10-, 調整運転(11/3/13-7/16), 蓄圧タンク圧力の低下に伴う停止(11/7/16-9/20))

※お断り
圧力プレート設置に伴い、志賀2は135.8万kWから120.6万kWに出力を変更している。各表のデータは、変更後の数値に基づく。
福島第一1~4号機は震災停止後、既に廃止を決定しているが、電気事業法に基づく届出が完了するまでの間、発電設備容量に含めて算出している。

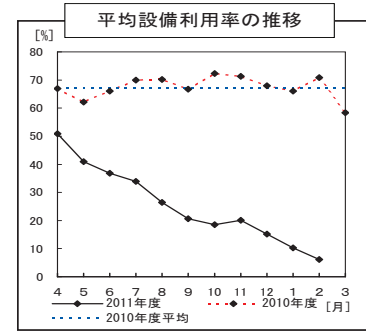


Table showing average equipment utilization rate by reactor type (BWR, PWR) for 2012 February.

Table showing average equipment utilization rate by company for 2012 February.

設備利用率 = (発電電力量 / (認可出力 x 稼働時間)) x 100 (%)
時間稼働率① = (稼働時間 / 暦時間) x 100 (%)
時間稼働率② = ((認可出力 x 稼働時間の合計) / (認可出力 x 暦時間の合計)) x 100 (%)



わが国の原子力発電所運転速報
2月の設備利用率6.1%に
再稼働できず、運転中2基に
原産協会の調べによると、二月の国内原子力発電所の稼働状況は、総発電電力量が二十億七千五百二十二万kWh(対前年同期比九一・一%減)で、設備利用率は六・一%(同六四・七ポイント減)と、定期検査中プラントの再稼働ができず、遂に一〇%を切る格好となつてしまった。現在、運転中のプラントは、北海道電力泊3号、柏崎刈羽6号機では、二十

機と東京電力柏崎刈羽6号機の二基のみである。
二月中に定期検査入りしたのは、二十日に停止した関西電力の高浜3号機(II号真左)の一基で、同機の検査日程は約四か月間が予定されている。また、これに伴い、同社の原子力発電所は、一九七九年七月の全六基停止して以来、三十二年七か月ぶりに全基が停止することとなった。関西電力では、寒波による電力需要の急増や、発電施設のトラブル等に備え、「でんき予報」による電力需給状況の情報発信などを通じ、引き続き節電を呼びかけている。
福島原子力事故が発生した一二年三月以降、九州電力玄海4号機、九州電力玄海4号機のトラブル復帰で、若干持ち直した月はあったものの、定期検査からの再稼働ができず、設備利用率は月ごとにながた下がってきた。

原産新聞の記事検索

Advertisement for article search on jaif.or.jp. Includes URL, search criteria, and contact information.

「原産新聞ヘッドラインニュース」

Advertisement for free email magazine. Includes subscription details and contact information.